

科目名	演技研究Ⅱ							年度	2025
英語科目名	Performance Study Ⅱ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 1 年次	必／選	必	時間数	40	単位数	2	種別※	講義
担当教員	ヨシダ朝・安奈ゆかり		教員の実務経験		3 0 年	実務経験の職種		俳優	
【科目の目的】									
舞台・映画・アニメーション・ゲーム等、様々なメディアにおいて必要な、キャストについて考察する。演技する者としての作品への関わり方を様々なジャンルの作品を通して、自分にトレースし、演技というものを理解する。この授業に参加する学生が、スキルアップの為にカリキュラム上組まれている科目についての理解度、芸能の世界においての必要性を理解することを目指す。									
【科目の概要】									
映画、テレビ、舞台など、様々な作品に触れながら演技を研究実践する。									
【到達目標】									
手法の嗜好が偏らないよう様々なジャンルの有用性を考慮したうえで、声優・俳優として与えられた配役の役柄としての理解を深め、その為にどのような役作りをしていくべきかを考える力をさらに持てるようにする。時代と共に変化をしていく演技法を、自己の表現の為に、外観改造、内心や心情を思索する等、様々な要素を役作りに取り入れ、声優・俳優の仕事に対してより本質的な向き合い方ができる役者になることを目標とする。									
【授業の注意点】									
授業において鑑賞した作品のレポートの提出は必須とする。作品内容（あらすじ）の理解よりも自分自身がどう思いどうしていくべきかを意見できることを評価・重要視する。恒常的出席が単位授与の基本原則である。授業時数の4分の3以上出席をしない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	卓越した演技技術を持ち、深い理解と創造性で表現が豊かである。	高度な演技技術を理解し、自然で魅力的な表現ができています。	幅広い演技技術を理解し、感情や状況に適切に対応している。	基本的な演技技術を理解しているが、深みや多様性が欠けている。	初歩的な演技技術が不十分であり、表現が不自然である。				
到達目標 B	役柄への卓越した理解があり、独自の深い洞察と創造的アプローチで役柄を豊かに表現している。	役柄の深い理解があり、独自のアプローチが効果的に役柄に反映されている。	役柄の背景や心情を適切に理解し、自己のアプローチが役柄に統合されている。	役柄の基本的な特徴や心情を理解しているが、アプローチに一貫性が欠ける。	役柄の理解が不十分であり、自己のアプローチが明確でない。				
到達目標 C	自己表現が卓越しており、独自の洞察と創造性で表現が豊かである。	自己表現が豊かで多様であり、独自のアプローチが効果的に取り入れられている。	自己表現があり、役柄や状況に適切に反映されている。	自己表現が一部見られるが、多様性や独自性に欠ける。	自己表現や創造性が不十分であり、演技に深みがない。				
到達目標 D	映画の基本的な要素に対する卓越した理解があり、感情や意見が洞察的かつ印象的に表現されている。	映画の基本的な要素に深い理解があり、感情や意見が洞察的に表現されている。	映画の基本的な要素に関する理解があり、感情や意見が適切に表現されている。	映画の基本的な要素に関する理解があるが、まとめが不十分。	映画の基本的な要素に関する理解が不十分。				
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い				
【教科書】									
毎回授業にて資料配布を行う									
【参考資料】									
「立ち位置」の法則									
【成績の評価方法・評価基準】									
平常点 70% 積極性や協調性など、授業への取り組み方を評価します。 レポート 30% 振り返りレポートを作成することにより、自身の成果を確認します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		演技研究Ⅱ				年度	2025
英語表記		Performance StudyⅡ				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	作品鑑賞①	舞台と映像を比較する		映画鑑賞	その作品の世界観を知り、楽しむ		
2	作品鑑賞②	舞台と映像を比較する		舞台鑑賞	表現方法の違いを学ぶ		
3	オーディション対策⑤	撮影を振り返る		カメラマン	カメラマンから見る被写体を知る		
				サンプル	サンプル画像から「印象」を探る		
4	オーディション対策⑥	プロフィール写真を選ぶ		ベストショット	写真シートから自身のベストを選定する		
5	ヴォイスサンプル講座⑤	収録の振り返り		ヴォイスサンプル	次の収録機会に向け、改善点を見つける		
6	作品鑑賞③	現場を想像する		映画鑑賞	作品からオーディションに臨む心構えを学ぶ		
7	作品鑑賞④	様々な作品を知る		映画鑑賞	名作・時代ものを鑑賞することで、興味・表現方法の幅を広げる		
8	作品鑑賞⑤	様々な作品を知る		映画鑑賞	有名声優の出演作品を鑑賞し、表現の幅を広げる		
9	業界研究①	先輩声優から学ぶ		講演	第一線で活躍する声優から、芸能界での生き方を学ぶ		
10	業界研究②	業界を知る		講演	業界スタッフの話から、ピックアップされるための心構えを持つ		
11	作品鑑賞⑥	様々な作品を知る		他学科コラボ	他学科とのコラボレーション作品に触れる		
12	エチュード①	作品の内容を理解する		読み合わせ	グループで読み合わせを繰り返す		
				アイディア	様々なアイディアを考える		
13	エチュード②	表現方法の模索		想像	舞台装置を想像する		
				粗立ち稽古	様々な設定を演じ、より良い表現を探る		
14	エチュード③	改善点を見出す		中間経過発表	本番同様に演じることで、改善点を見出す		
15	エチュード④	成果の確認		発表本番	観客の感想を聞く		
				発表本番	他グループの発表を観て感想を述べる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等